

題： 紙メディアの必要性

名前：

私は、インターネットが普及してからも、新聞や雑誌は必要だと思う。

たしかに、近年のインターネットの発達により、新聞や雑誌で得ることのできるような情報やニュースは、ネットで即座に見ることが可能になった。実際に私もネット上のニュースを見ることが多く、友人と話していても同様の話をしばしば聞く。しかし、新聞や雑誌などの紙メディアが不必要になることはないだろう。それは、それぞれのメディアの特性に着目することで明確になる。

インターネットの長所は言うまでもなく、その情報入手までの迅速性、そしてリアルタイムで情報が更新されていく即時性にあるだろう。しかし、もちろん短所も存在する。ネット上の情報は概して情報源が不明確で、信頼性に乏しい。さらに、携帯が発達し、ノートパソコンが普及したとはいえ、情報を持つ運びいつでも見る、ということに関しては未だに不便だ。

対して、新聞や雑誌などの紙メディアは、ネットに比べて迅速性や即時性には欠けるが、情報源は明確であり、持ち運びにも優れている。さらに、これは私が特に紙メディアの長所として感じることなのだが、ネットと違い紙メディアは実際に私達の手にとって、手ざわりを味わい、重さを実感することができる。私はこの感覚が大切だと思う。ネット上の重さを感じることができないニュースにしか触れていない人は、実際に紙メディアを手にした時の満足感、そして情報の重みを味わうことはできないだろう。これは、未だに図書館が電子化されて消失していないことと似た理由だろう。生の重みが大切なのだ。

インターネットと新聞や雑誌は己のように互いの欠点を互いが補助する相補的な関係にある。従って、私はインターネットが発達したとしても、今後新聞や雑誌などの紙メディアが不必要になることはない、と考えている。

1800字